

1 へき地医療拠点病院の目的、指定要件等（国資料から引用）

■ 目的

へき地医療拠点病院事業は、へき地診療所等への医師及び看護師等の派遣（代診医等の派遣を含む。）、へき地従事者に対する研修、遠隔診療支援等の診療支援事業等が実施可能な病院を都道府県単位で「へき地医療拠点病院」として編成し、へき地医療支援機構等の指導・調整の下に各種事業を行い、へき地における住民の医療を確保することを目的とする。

■ 指定要件・事業内容

都道府県知事は、次に掲げる事業（**ア、イ又はカのいずれかの事業は必須**）を実施した実績を有する又は当該年度に実施できると認められる病院をへき地医療拠点病院として指定する。へき地医療拠点病院は、へき地医療支援機構等の指導・調整の下に次に掲げる事業を行うものとする。

ア 巡回診療等によるへき地住民の医療確保に関すること。

イ へき地診療所等への代診医等の派遣（継続的な医師派遣も含む）及び技術指導、援助に関すること。

ウ 特例措置許可病院への医師の派遣に関すること。

エ 派遣医師等の確保に関すること。

オ へき地の医療従事者に対する研修及び研究施設の提供に関すること。

カ 遠隔医療等の各種診療支援に関すること。

キ 総合的な診療能力を有し、プライマリ・ケアを実践できる医師の育成に関すること。

ク その他都道府県及び市町村がへき地における医療確保のため実施する事業に対する協力に関すること。

必須事業

主要事業

巡回診療

医師派遣

代診医派遣

遠隔医療

2 検討対象病院

病院名

指定年月日

派遣先診療所

外ヶ浜町国民健康保険外ヶ浜中央病院

平成17年4月1日

市浦診療所（～H19）、今別診療所

3 直近10年間の実績

年度	H23	24	25	26	27	28	29	30	31	R2	R3
実施回数(今別への代診医派遣)	0	7	5	0	0	10	0	2	0	0	0

4 経緯等

■ 平成17年4月

外ヶ浜中央病院（以下「同院」という。）が上磯地域（津軽半島北部）医療連携として、今別診療所に対する診療（年244回午前）及び市浦診療所の要請による診療（年52回午後）を実施予定であったことから、平成17年4月1日にへき地医療拠点病院として指定した。

■ 令和2～3年度

県保健医療計画の中間見直しのため、同院を訪問のうえ、現状や今後の見通しについて聞き取り、運営体制について指導・助言を行った。

■ 令和4年5～11月

同院を訪問のうえ、現状や今後の運営方針等について聞き取りを実施したところ、今後もへき地医療拠点病院としての事業実施が見込めないことが確認された。

県として指定取り消しを検討する状況にあることを同院に伝えた。

■ 令和4年12月

同院から、へき地医療拠点病院の指定辞退届（資料2－2）が提出された。

県の判断

外ヶ浜中央病院は、直近3年で必須事業の実績がなく、今後も実施できる見通しが立たないことから、へき地医療拠点病院の指定取り消しはやむを得ない。（指定取消に係る手続きを進める）

厚生労働省へ文書にて、へき地医療拠点病院の指定取り消しについて事前相談を行い、取り消しが問題ない旨回答を得た。

■ 令和5年2月

地域医療対策協議会において、同院のへき地医療拠点病院の指定取り消しについて協議を行う。

（地域医療対策協議会で了解が得られた場合の手続き）

県から同院に文書で、へき地拠点病院の指定取り消しについて通知する。

■ 令和5年3月

青森県医療審議会において、同院のへき地医療拠点病院の指定取り消しについて報告する。